

授業科目 精神疾患の病態と診療	区分・教育内容		
	専門分野Ⅱ 精神看護学		
授業担当者 沓澤 理 菅原 美紀 大沢 舞 (中通総合病院)	開講時期	単位	時間数
	前期～中期	1 単位	30 時間
授業の目的 精神疾患について理解し、看護援助のあり方を理解する。			
授業の目標 1. 精神疾患の診断と治療方法について理解し、看護援助を展開できる能力を養う。 2. 精神症状のある患者の状態を評価し、看護援助を計画的に施行する能力を養う。			
授業概要 最初に主な精神症状と症状の組み合わせによってまとめられる精神状態像の主要なものについて理解してもらう。次に、精神医療で用いられる主な検査、治療法について理解してもらう。		授業概要 主な精神疾患について学習し、理解を深める。精神科の各論にあたる。	
授業計画(進め方) 1～6 回目 (担当：沓澤) 7 回目 (担当：大沢)		授業計画(進め方) 1～5 回目 (担当：沓澤)	
1. 精神症状の考え方 精神症状 (1)：思考の障害 2. 精神症状 (2)：自我意識の障害、感情の障害、意欲・行動の障害、知覚の障害 3. 精神症状 (3)：意識障害、知能の障害、記憶の障害、精神状態像、神経症状 (巣症状) 4. 神経学的補助検査法 精神疾患の治療 (1)：薬物療法① 5. 精神疾患の治療 (2)：薬物療法② 電気けいれん療法 6. 精神疾患の治療 (3)： 精神療法、行動療法、集団精神療法、家族療法、社会療法 7. 心理検査		1. 統合失調症 2. 摂食障害、睡眠障害、てんかん 3. 器質性精神障害 (1)： 認知症、症状精神病 4. 器質性精神障害 (2)： 精神作用物質による精神障害	
テキスト ナーシンググラフィカ 精神看護学② 精神障害と看護の実践 メディカ出版		6～8 回目 (担当：菅原、大沢) 5. 気分障害 6. 神経症・心因反応 7. パーソナリティー障害、精神遅滞、心身症 8. 小児期・青年期に発症する行動および精神障害、発達障害	
参考書・指定図書			
評価の方法 筆記試験			